

## EXERCISE (1) 解答・解説

### 解答

A.

(1) [ key ]

[今すぐインストール] メニューから、[標準インストール] を選択し、Enterキーを押してください。

(2) [ messages ]

エラーメッセージがないかどうか、ウィンドウを確認してください。

(3) [ CASE ]

CASE とは、コンピュータ支援システム・エンジニアリング (computer-aided system engineering) の略称です。

B.

(1) Yellow absorbs all colors except red and green.

(2) An atom is regarded as a spherical body with a nucleus at the center.

【別訳】 Atoms are regarded as spherical bodies with a nucleus at the center.

### 解説

A.

(1) Enterキーは、コンピュータのキーボード上で唯一（複数あっても1つのキー）とみなされ、単数扱いとなります。

デスクトップ型のPCのキーボード上には左右に2つ、テンキーの近くに1つ、合計3つ

のEnterキーがあることが少なくありませんが、この場合もコンピュータのキーボード上では1つのキー（唯一）とみなされます。なぜなら、キーが複数あっても機能は同一で、**実質的には1つの機能であるとみなされる**からです。同様のことは、ShiftキーやCtrlキーにも当てはまります。これらのキーは、キーボード上に複数あっても、通常は単数扱いになります。

(2) エラーメッセージが表示されているかどうか（いくつあるか）は、実際に画面を確認しなければ分かりません。このような場合、「不特定多数」を表す無冠詞複数形を用いるのが一般的です。an error message という不定冠詞の形でも必ずしも間違いではありませんが、その場合は弱い any（何らかの）という意味が含まれます。実務翻訳では、不定冠詞にするか無冠詞複数形にするか**迷ったら無冠詞複数形を選択する**のが定石とされています。なお、冠詞については、次の LESSON 2 で詳しく学習します。

(3) **この場合の CASE** には冠詞は付きません。製品そのものを指す場合は不定冠詞または定冠詞が付くことがあります。ここも LESSON 2 で詳しく学習します。

B.

(1) 色名 (yellow など) は抽象名詞と同様に無冠詞単数形です。「すべての色」は all colors で the は付きません。他との区別をはっきりつけることができない（「境界線」がない）場合には定冠詞は使えないので the は付きません。

(2) 不定冠詞と定冠詞の使い分けに注意します。訳例では An atom is ~ という書き出しですが、別訳のように、Atoms are regarded as spherical bodies with a nucleus ~ という形でも OK です。この場合、a nucleus と単数になっているのは「**配分単数**」と呼ばれる用法で、「原子核はそれぞれの原子に1つある」という意味です。主語を Atoms と複数にすると、「原子というものは一般に」という総称的な意味合いが強くなります。